

研究課題名 予防的回腸人工肛門における High output stoma の予後に及ぼす影響の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日～2018年12月31日までに当科で直腸癌、潰瘍性大腸炎に対し一時的回腸人工肛門造設術を伴う手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

直腸切除後の縫合不全のリスク軽減を目的に一時的回腸人工肛門を造設する症例が増えています。一方で、回腸人工肛門に伴う High output stoma (HOS) の発生が問題となっていますが、HOS が腎機能や栄養状態などの予後に及ぼす影響は明らかとなっておりません。一時的回腸人工肛門造設後の HOS が長期的な栄養状態や腎臓の機能に及ぼす影響を明らかにする目的で、一時的回腸人工肛門造設が試行された患者を対象に、患者背景、周術期因子、血液検査所見や各種栄養スコアの変化を後方視的に検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、血液検査所見、手術記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 病院助教 佐藤 雄介

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎